

平成 29 年度第 2 回山形県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 9 日（金）午後 2 時から午後 2 時 50 分まで
- 2 場 所 庁内 1201 会議室
- 3 出席者 <委員>
阿部委員長、井上委員、岡田委員、澤邊委員、武田委員、中條委員、野崎委員
< 県 >
大森総務部長、遠藤学事文書課長 ほか
<山形県公立大学法人>
鈴木理事長、奥山理事、大和田理事、高橋理事 ほか

概要：

1 開 会

2 議 事

(1) 山形県公立大学法人中期計画の一部変更について

県立米沢栄養大学大学院の概要及び山形県公立大学法人中期計画の変更について、法人から説明を行った後、中期計画の変更箇所について質疑、意見交換を行った。審議の結果、中期計画の内容について特段の修正意見はなく、委員会の意見としては、「案のとおりとすることが適当」とされた。

<主な質疑・意見>

◎第 2 山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(3) 学生の確保

「キ（大学院の学修環境の改善）」について

<主な質疑・意見>

○「(1) 教育の内容及び成果」の「②大学院教育」の「エ」にある「学修環境の充実」と、「(3) 学生の確保」の「キ」にある「学修環境の改善」との違いを教えてください。（井上委員）

⇒ 内容的には同じものと考えている。社会人を積極的に受け入れるとともに、学

びやすい環境を整えていきたいという趣旨で、学生を受け入れる前でも、また、受け入れた後でも充実させていきたいという意味です。(鈴木理事長)

- 様々な職業に就いている方を受け入れて、環境を整えるということは一人ひとりについて整えていくということか。(武田委員)
- ⇒ 社会人の場合、働いている状況も異なるため、一人ひとりの状況に配慮して授業時間を組んでいきたい。(鈴木理事長)

- 企業側からすると、働きながらの方が良いのか、一度休職する方が良いのか不明瞭なところがある。社会人の想定として、どのように考えているか。(武田委員)
- ⇒ 管理栄養士は、一旦退職すると再就職が難しい面があるので、職場の理解があれば仕事を続けながら、もしくは時間を調整しながらの学ぶことになると思う。ただし、本人の希望で全く異なる進路を選ぶこともあり得るため、本人の希望と職場の状況に応じて対応していきたい。(鈴木理事長)

- 夜間や土日の講義となると講師に対する費用等が発生することになると思うが、その辺りは既に見込んでいるか。(野崎委員)
- ⇒ 見込んでいる。教員の負担ができるだけ過重にならないように、夜間や土日の勤務となる場合は、他の日に振替休日を取れるようにしていきたい。(鈴木理事長)

「第7 予算、収支計画及び資金計画」について

<主な質疑・意見>

- 授業料は学部と同額とのことだが、大学院に進学する場合、より学費をかけることになるので、学部より低く設定することが多いと思うが、その辺りを教えてほしい。(澤邊委員)
- ⇒ 学部も含めて、同じ県立大学の保健医療大学との整合性を図ったもの(大和田理事)

3 閉会